

令和6年

# 新年のごあいさつ

松浦市長

友田 吉泰



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、令和6年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、長きにわたる新型コロナウイルス感染症への対応がようやく節目を迎えました。しかしながら、不安定な国際情勢などに起因するエネルギーや原材料価格の高騰に加え、円安の進行による物価高は、市民皆さまの家計にとって大変厳しい一年でありました。そうした中、国土交通省において、継続的に予算措置がなされてきた西九州自動車道松浦佐々道路は、松浦IC〜平戸IC間で松浦1号トンネルおよび松浦2号トン

ネル（いずれも仮称）が貫通するなど、順調に工事が進められてまいりました。

「アジフライの聖地 松浦」の取り組みについては、松浦アジフライをはじめとする本市の魅力を発信していただく「松浦アジフライ大使」として、MBS毎日放送の福島暢啓アナウンサー、イタリアの地で食イベントなどを通じてアジフライの魅力を広めているイタリア人のキャーラ・ベッターリョ氏を新たに認定いたしました。

大使の情報発信力を活用し、全国、海外に向けて松浦アジフライの魅力をPRし、更なる本市の認知度向上に努めてまいりました。

少子高齢化が進む中、10年後、20年後を見据えた小学校区単位の協働によるまちづくりについては、本市初となる調川地域まちづくり協議会「調創会」が設立され、他の地域においても設立に向けた準備が進んでおります。引き続きこの取り組みが市内各地域に波及していくよう支援してまいります。

さて、迎えた新年は、1度目の元寇である「文永の役」から750年の節目となることから、元寇で活躍した鎌倉武士に所縁のある自治体と連携した「元寇所縁のネットワーク」発足を開催するとともに、イベント実施に向けた準備を進めてまいります。

また、節目となる歴史的な新年にモンゴル国ホジルト郡との姉妹都市交流を再開すべく、モンゴル国日本大使館、九州・沖縄モンゴル友好協会などの関係機関とも連携し、交流再開の合意書締結に向けた調整を行ってまいります。

ご寄附により製作いたしました、木製のおもちやがたくさん詰まったオリジナルの移動おもちゃ箱が、木育の啓発とふれあいの場の提供を目的として、市内各地域を巡ってまいります。お近くの地域に移動おもちゃ箱が訪れた際には、是非お立ち寄りいただき、木のおもちやに触れていただきたいと思っております。

本年の主な事業といたしまして

は、松浦市消防署鷹島出張所、鷹島学校給食共同調理場の整備について、本格的な建設工事に着手することとしており、県営事業として進められている松浦港（御厨地区）の緑地整備については、令和6年度中の工事完成へ向けて、引き続き県と連携して取り組んでまいります。

西九州自動車道松浦佐々道路については、地元調整など、国や県と協力しながら早期完成に向けて事業の進捗に努め、開通後の交流人口拡大と地域経済の活性化に繋げてまいります。

新しい年も、市民の皆さまとともに策定いたしました「第二次総合計画」に掲げる6つの将来像の実現を目指し、持続できるまちづくりに取り組んでまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、健やかで輝かしい年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 松浦市議会議員

谷口 一星



明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。また、日頃から、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。近年、人口減少・少子高齢化社会の到来により、国も地方も大きく変革する中、今後本市の限りない発展と更なる市民福祉の向上を目指し、市議会といたしましてもさまざまな課題に注力し、住みやすいまちづくりの実現に向けて努力しているところでございます。さて、本市で鷹島海底から沈没船の一部とみられる木製の構造物が発見されました。市議会といたしましては、官民の連携強化をな

お一層図りながら将来の鷹島海底遺跡の保存活用を検討し、水中遺跡保護の機運を盛り上げていきたいと考えております。

皆さまには、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、感染拡大前の日常に戻りつつありますが、市民の皆さまにおかれましては、健康に留意され、健やかな一年をお過ごしいただきたいと願っております。

結びに、新しい年が市民皆さまと松浦市にとりまして、より良い一年となりますことを心から祈念いたしました。新年のご挨拶いたします。

## オーストラリアマツカイ市長 グレッグ・ウィリアムソン



明けましておめでとうございます。

マツカイ市にとって2023年は活気に満ちあふれ、挑戦することの多い、充実した一年となりました。市と関係機関が一丸となって主要な事業の進展と各種イベントの充実を実現し、魅力あるまちづくりに取り組みしました。

市の事業の一つとして整備してきた「フィンチ・ハットン マウンテンバイクコース」は公開間近となりました。このすばらしいコースは国際規格を満たし、ヤンガラ国立公園やクレディトン州有林を通過し、完走するのに3日以上を要する規模となっています。

また、「シーフォース遊歩道」、「リバーウォーク」といった再開発事業により、人々が余暇と景観を

楽しめる場所が増え、市内は一層活気づいています。

昨年8月には、松浦市青少年親善使節団をマツカイ市に迎えることができて大変嬉しく思います。使節団の皆さまは松浦市の代表としての役目を立派に果たしオーストラリアならではの体験にも積極的に参加していただきました。

また、昨年6月のマツカイ市青少年使節団の松浦市訪問では、使節団を温かく受け入れていただいたことに感謝申し上げます。

両市が行っている人的交流は、市民同士が異なる文化を学び、友情を育み、視野を広げ、新しい食文化を知る素晴らしい機会となっています。

松浦市国際親善協会とシスターシティーズ・マツカイには、日頃より姉妹都市交流へご尽力いただいていることに対し深く感謝を申し上げます。

結びに、松浦の皆さまのご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。